

中国大学生の感想(抜粋)

- とても意義深かった。短い交流だったが、中国と日本の学生の考え方の違いに気づくことができた。交流をしたいという気持ちは同じだったので、今回の事業を通じて、お互いの文化についてある程度の理解を得られた。私が入ったグループでは、日本の学生が中国の学生よりも積極的であったと思う。このような活動がもっと増えることを願っている。
- まず、クラスメイトとともに学校の代表として日中オンライン交流会に参加できたことを光栄に思う。とても多くのことを得られ、心に深く残っている。両国の学生で「私の就職観」というテーマで選ばれた5つのキーワードについて、深く熱い議論を交わした。率直な感想としては、一人ひとりが自分なりの考えを持っているのだということ。選ばれたキーワードについて各自違った見解を持っていた。また、グループ内にいた博士・修士の学生は「もうすぐ就職」という別の視点から有用な考え方や手法を提起してくれた。全体的に言えば、今回のオンラインでの交流で視野が広がったし、コミュニケーション能力も鍛えられたので、これから正しい就職観を作っていくための土台ができたと思う。最後に、このような機会を与えてくれた学校に感謝したい。今後もまた、優秀な大学生たちとディスカッションをしたい。
- 今回の交流を通じて、職業選択についてよりはっきりとした考えを持つことができた。これから仕事を選ぶに当たって、ワークライフバランスについてもっとよく考え、自分に合った選択をしていきたい。交流はすべて英語だったので、英語を勉強する大切さが身に染み込んだ。日本語を勉強しながらも、英語学習を軽んじてはいけないと痛感した。
- 活動を通じて、日本の同世代たちの生活を知り、日本についての理解が深まった。日本の同世代の大学生もとても、生き生きとしていると感じた。
- 中国と日本の考え方、文化、社会などの多様性を学ぶことができた。また、キューートで面白い日本人とも友だちになることができ、日中交流への興味がわくなど、とても有意義だった。